

閉会中の常任委員会調査

※閉会中常任委員会調査とは、閉会中（定例議会と定例議会の間）に行われる継続審査や、調査の必要がある議題について行われる委員会です。

総務文教常任委員会

空き家の状況と課題、対策

「湯沢町空き家等及び空き地対策計画」を策定、「湯沢町空き地等の適正な管理に関する条例」等を改正。危険家屋162棟（うち空き家151棟）の実態調査を実施予定。適切管理物件は「空き家バンク」登録を促し、所有者不明物件は「財産管理制度」活用を検討。

Q 危険家屋162棟のうち空き家が151棟だが、11棟は何か。

A 人が住んでいる家。

外国人居住者にかかわるトラブル 事案や課題

住民から、外国人との雪害関連の対応要望あり。ご近所問題のため町は対応しないが、外国語対応チラシを配布。

Q 外国人所有建物が崩壊の恐れがあり緊急代執行した経費は、徴収できているか。

A 通知したものの、費用回収できていない。

Q 今後経費が徴収できない事例が増えるのでは。対処法は。

A 全国的な問題。町長を介し要望活動を行う。

生活福祉常任委員会

成年後見制度と高齢者支援の現状、 独居高齢者増加に伴う課題

成年後見制度は、判断能力不十分な方の権利を保護し公的支援する制度。高齢者支援として緊急通報装置貸与や「ひとり暮らし等安心登録サービス」を実施。

Q 後見制度で対応できない身元保証への支援や関与は。

A 身元保証は課題。個別対応等で制度利用を促し、不在時は個別に対応。

Q 独居高齢者の増加をどのように把握か。

A 独居高齢世帯は約1千世帯。接

点を地道に広げる。

国民健康保険財政の現状と医療費 構造、県・国への働きかけ

国の方針で保険料水準の統一が進む。新潟県も段階的に進行中で、医療費水準が低い湯沢町は県への納付金増額が見込まれる。実情や地域特性を考慮した制度設計を国・県に求めていく。

産業建設常任委員会

グリーンシーズンの観光

夏季の観光促進、フジロックバスの一般開放や駅周辺等のバス運行を予定。雪国魚沼ゴルフデンサイクルルートはナショナルサイクルルート候補として夏頃指定可否が決まる見込み。

宿泊税

導入検討委員会を設置検討中。アンケートや説明会を経て12月議会上程を目指す。使途は公益性や納税者視点など4点から整理。入湯税との棲み分けも課題。

Q 宿泊税の基金は作るのか。

A 検討中。

白馬村視察

令和8年5月19日

産業建設常任委員長 並木利彦

白馬村では、インバウンド増加により、宿泊業・飲食・交通・不動産などに経済効果が広がり、周辺自治体にも宿泊需要が波及している。観光客数はコロナ後に回復し、グリーンシーズンも伸びているが、外国人客はなお冬季に集中している。

一方で、混雑、夜間騒音、ごみの増加、宿泊施設への誤侵入、民泊をめぐる住民トラブルが発生している。さらに、外部資本による不動産取得や地価上昇により、固定資産税の負担増、住民や従業員向け住宅の不足、家賃上昇も課題となっている。

村は、マナー条例の改正、宿泊税の導入、観光DX、地域公社の検討を通じ、観光収益を地域課題の解決に再投資する仕組みを整えようとしている。行政は公共性の高い分野を担い、民間やDMOと連携しながら、稼働観光と地域還元両立を図る。

今後は、冬季依存から通年型観光へ転換し、住民生活と観光振興が両立する持続可能な観光地づくりを目指す。地域文化の継承にも配慮する必要がある。